

日本とカナダは国交を開設してから今年で75周年。
この機会に2つの国の友好と協力が
さらに深まることが期待されています。

日本と共に歩むパートナー、カナダ。
その歴史と素顔をあなたはどのくらいご存知ですか？

75年のパートナーシップ、 そして未来へ。



History

日本とカナダの歩み

Partnership

将来に向けた取り組み

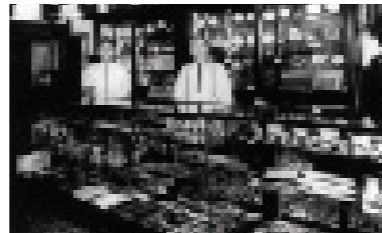
Appeal

カナダの素顔と魅力

明治時代から続く日本との交流。

1877年には初の日系移民がカナダに移住

日本とカナダの交流は古くから続いています。1877年に永野万蔵という名の19歳の若者が英国船に乗船、ニューウェストミンスターへ上陸したのが日系移民の第一号とされています。1877年は日本では明治10年にあたります。公式なカナダ移住は横浜・バンクーバー間の定期航路が就航した1887年に開始されました。定期航路就航後、太平洋を渡る日本人の数もしだいに増加していったのです。



写真提供: Vancouver Public Library, Special Collections #11804

バンクーバーの「パウエル」ストリートに、1890年当時にあった日系移民1世の店

バンクーバーに日本領事館が開設したのは1889年

1886年、バンクーバーにカナダ太平洋鉄道が開通、さらに翌年のバンクーバー・横浜間の太平洋航路就航を契機として日加貿易が開始されました。日系移民の数も増加し1889年にはバンクーバーに日本領事館が開設されています。領事館はカナダに設置された日本政府機関の第一号でもあります。領事館開設と共に日加間の貿易が本格的に開始され、日本から主に緑茶と絹が輸出され、カナダからは木材、石炭、小麦、海産物などが輸入されました。1928年には、首都オタワに日本公使館が開設されて、外交関係が始まりました。その翌年には、東京にカナダ公使館が開設されています。



初代駐カナダ日本公使、徳川家正公卿
写真提供: 徳川家正公卿

JETプログラムを始めとする多彩な人材交流

今日でも日本とカナダの人の交流は盛んです。草の根レベルの青年交流プログラムである、ワーキングホリデー制度を通じて、毎年4,000人以上の日本人青年がカナダを訪れ、カナダからは800人前後の青年が来日しています。外国語教育の向上と国際化促進を日本各地方に広げるために、1987年から政府が始めたJET (The Japan Exchange and Teaching)プログラムを通じて、多数のカナダ人の青年が英語教師として招致され、創設以来、その総数は約5,800人上っています。また、世田谷区とウィニペグ市、横浜市とバンクーバー市など、約70もの姉妹都市関係が日本とカナダとの間で結ばれています。



写真提供: 日 加国際青年協会

外国人講師によって日本各地で国際化が促進

国際的な協力関係と、2国間の経済関係。

PKOなど様々な国際協力のパートナー

政治・安全保障面で、日本とカナダは良好な協力関係を有しています。カナダは日本と同じくG8の一員であり、国際協力の場でも重要なパートナーです。国連平和維持活動 (PKO) では、ゴラン高原での国連兵力引き離し監視隊 (UNDOF) で両国が協力しています。また、両国とも包括的核実験禁止条約 (CTBT) を支持するなど、軍備管理・軍縮、不拡散の推進においても積極的に取り組んでいます。1997年の対人地雷禁止条約の成立過程でも、両国は緊密に協力しました。最近では国際的なテロとの闘いにおいても、両国は協力しています。



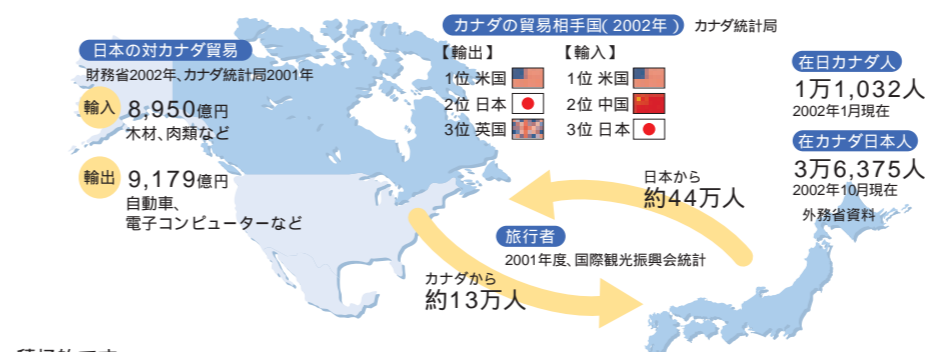
ゴラン高原での両国の協力
写真提供: 内閣府

21世紀へのグローバルパートナーシップ

現在、カナダにとって日本は、輸出は第2位、輸入は第3位の貿易相手国であり、こうした経済面でのつながりは、良好な2国間関係に貢献しています。日本は、自動車やその部品、コンピューター、カメラなどの機械製品を輸出し、カナダからは木材、石炭などの天然資源や、肉類、菓類、小麦といった農産品を輸入しています。近年は日本に対してITなどのハイテク分野における輸出や交流の促進に



日加の良好な関係 (クレチエン首相と小泉総理)
写真提供: 外務省国際情報センター



積極的です。

大規模経済ミッション「チーム・カナダ」

1999年にはクレチエン首相が、連邦政府関係や州の首相、経済界の代表などで構成された大規模経済ミッション「チーム・カナダ」を率いて来日しました。訪日中に、約4,000社の日本の企業との会合等もたれ、航空、情報通信分野などで約280億円の商談がまとまりました。その際に行われた、日加首脳会談で両首脳が「日本とカナダ: 21世紀へのグローバルパートナーシップ」を発表し、規制分野における協力、援助協調、平和及び安全保障に関する協力などについての確認がなされました。以後、日本が3度にわたりITミッションを派遣するなど、カナダのハイテク産業を新機軸に、二国間のビジネスパートナーシップの強化に向けた努力が行われています。チームカナダ訪日、1999年旧総理官邸入り口ホールにて

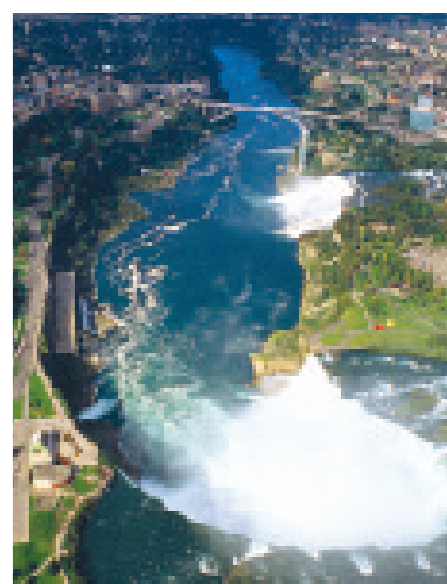


写真提供: 外務省国際情報センター

豊かな自然と世界有数のIT技術保有国。

広大な自然と先進の産業

日本の約27倍もの広大な国土を持つカナダは、ナイアガラの滝やロッキー山脈に代表されるダイナミックで豊かな自然にあふれた、世界で2番目に大きな国土を有する国です。美しい湖や静かな森など魅力的な自然を求めて、日本からも毎年多くの観光客が訪れています。広大な自然環境から、カナダは農業国と思われがちですが、実際は第2次、第3次産業が発達した先進工業国で、サービス、金融などの第3次産業が生産額の約7割を占めています。また、カナダの天然資源埋蔵量は、1997年における世界銀行の評価で世界第3位にランキングされるほど豊富です。また、鉄鋼、紙・パルプ業や自動車、機械・機器などの製造業が盛んに営まれています。特に自動車は、日米の大手メーカーの工場が多数進出しており、関連部品を含め主要な輸出品の1つになっています。



世界最大の瀑布、ナイアガラ

多様な民族と文化を持つ国

カナダはイギリス系、フランス系、先住民以外にも様々な民族が住む多文化社会です。英語とフランス語の2つの公用語の他に、80もの言語が話されています。新聞・雑誌も数多くの言語で発行されています。1988年には多文化主義法が定められ、国をあげて多文化主義が推進されています。



『赤毛のアン』の舞台、グリーン・グイブルス

先住民によるカウチン・セーターやトーテム・ポールなどの伝統芸術に加え、カナダは、音楽、ダンス、文学、演劇、映画など芸術の様々な分野においても世界中から高い評価を受けています。特にモンゴメリの小説『赤毛のアン』は日本でも有名です。

写真提供: カナダ大使館

世界でも有効な高度なハイテク技術

世界初の電話通話は発明者のカナダ人ベルによってカナダで幕を開けました。現在、カナダは世界でも最も広範囲な光ファイバーネットワークなど高度なハイテク技術を有しています。また、カナダのスクールネット (School Net) プログラムは、全国すべての教室、図書館、そしてコミュニティをインターネットで統合しています。ソフトウェアやマルチメディアの分野で世界中から高い評価を受けており、特にグラフィックス、アニメーション、3Dシミュレーションの分野で優れた実績をあげています。『タイタニック』、『スターウォーズ・エピソード1』などハリウッド映画のおよそ60%に使われているソフトウェアは、いずれもカナダで開発された技術です。日本のコンピューターゲーム業界でもカナダのソフトウェアは幅広く利用されています。